

4

木簡の水洗と保存処理事業

#木簡

#保存処理

#平城宮跡

奈文研が保管する木簡は30万点に迫り、全国出土総数の約7割を占めます。平城宮跡では今でも木簡が出土しています。発掘現場では、木簡を含む木屑の層を全て土ごと持ち帰ることがあります。この中には薄い木簡の削り屑も含まれており、その水洗・選別作業は細心の注意を要する膨大な作業です。さらに、朽ちるのを防ぐため保存処理をします。

しかし、膨大な出土点数にのぼるため、「保存処理待ち」木簡が列をなしています。そこで、木簡を確かに未来に伝えるため、これら地道な作業のための体制強化を図っています。



木簡を含む木屑の分厚い堆積
(平城宮東方官衙の大土坑)



発掘現場から取り上げた木屑層のコンテナ



木屑をていねいに水洗して木簡を探し出す



取り上げた木屑層の水洗作業



水洗作業で見つかった木簡の削り屑



木簡を真空凍結乾燥機に入れる



保存処理前後の木簡

子を産んだ母犬に乳を与えたことを示す木簡
(左：保存処理前、右：保存処理後)